

2020（令和2）年度

京都大学教育学部
学士入学
試験問題

※選択されなかった外国語科目については掲載していません。

京都大学教育学部
学士入学試験問題

外国語

英語

注意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
提出する解答用紙は2枚である。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

英語

1. 次の文章の下線部(1)～(4)を和訳しなさい。なお、それぞれの解答の最初に、(1)～(4)の番号を記入すること。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Biesta, G. (2010) *Good Education in an age of measurement: ethics, politics, democracy*. Boulder, CO.: Paradigm Publishers.の12頁8行目～18行目を引用した。

なお、下線部(1)は、12頁の下から12行目の「The first problem」から始まる1つの文を、下線部(2)は、13頁2行目の「We need, in other words」から始まり「to engage with values」までの1つの文を、下線部(3)は、13頁16行目「The rise of a culture」から始まり「by technical validity」までの1つの文を、また、下線部(4)は、14頁5行目の「This is why」から始まる1つの文を指す。

(1)

【問題文】

(問題文略—問題用紙1頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(2)

【問題文】

(問題文略—問題用紙1頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(3)

Ⅱ、次の2つの文章のそれぞれについて、下線部(1)～(5)を和訳しなさい。
 なお、それぞれの解答の最初に、(1)～(5)の番号を記入すること。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

[文章 a] の問題文は、Gouldner, A. W. (1971). *The coming crisis of Western sociology*.
 London: Heinemann. の4頁2行目～5頁35行目を引用した。

なお、下線部(1)は、4頁29行目の「Assimilating the social sciences」から始まる1つの文を、
 下線部(2)は、5頁8行目の「Radicals who believe」から始まる1つの文を、
 また、下線部(3)は、5頁15行目の「The profound transformation」から始まる1つの文を指す。

[文章 b] の問題文は、Barrett, J. L. (2012). *Born believers: the science of children's religious belief*.
 New York: Free Press. の39頁25行目～41頁3行目を引用した。

なお、下線部(4)は、40頁8行目の「This tendency」から始まる1つの文を、また、
 下線部(5)は、40頁20行目の「Occasionally」から始まる1つの文を指す。

(4)

【問題文】

(問題文略—問題用紙4頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(5)

【問題文】

(問題文略—問題用紙4頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(6)

2020年度

京都大学教育学部
 学士入学試験問題

外国語

ドイツ語

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
 解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
 提出する解答用紙は2枚である。
 解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に
 して続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

ドイツ語

I. 以下の独文を日本語に全訳しなさい。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Andreas Dörpinghaus/ Ina Katharina Uphoff, *Die Abschaffung der Zeit- Wie man Bildung erfolgreich verhindert*, WBG, Darmstadt, 2012.の57頁17行目～同31行目を引用した。

(1)

II. 以下の独文を日本語に全訳しなさい。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Heinz Bonfadelli/ Werne Wirth, *Medienwirkungsforschung*, in: Heinz Bonfadelli/ Otfried Jarren/ Gabriele Siegert(Hg.), *Einführung in die Publizistikwissenschaft* 2. Auflage, Haupt Verlag, Bern-Stuttgart-Wien 2005.の563頁における1 Medienwirkungen als gesellschaftliches Problem から始まる段落の1行目～最終行を引用した。

(2)

2020年度

京都大学教育学部
学士入学試験問題

一般教育科目

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 問題Iは現代教育基礎学系、問題IIは教育心理学系、問題IIIは関連教育システム論系からの出題である。計3問のうち、入学志願票に記入した第1志望系と第2志望系の問題、計2問を必ず選択すること。志望系の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
提出する解答用紙は2枚である。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にし、続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

一般教育科目

次のI～IIIの3問のうち、入学志願票に記入した第一志望系と第二志望系の問題を、計2問を選択して解答しなさい。
(100点(50点×2問))

- I. 「人工知能(AI)が仕事を奪う」ということが言われているが、教育という営みはAIによって代替可能か。この問いについて論じなさい。
- II. 母子の相互関係が子どもに与える影響について(A)実験心理学と、(B)臨床心理学でどのように扱われてきたかそれぞれ論じなさい。
- III. 教育の無償化に関して、その事例と社会的影響について、否定的と思われる側面も含めて論じなさい。事例は複数でもよく、教育段階や国の内外は問わない。

(1)